

横浜市敬老特別乗車証の利用実績について

1 趣旨

横浜市敬老特別乗車証については、令和元年度に設置された「横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会」の答申を受け、利用実績を正確に把握するため、令和4年10月よりIC化しました。

令和4年10月1日から令和5年3月31日までの、半年間の利用実績データ（速報値）を集計しましたので、御報告します。

2 乗車証の交付状況（令和5年3月31日現在）

(1) 交付者数

401,866人（前年度比5,888人増）

(2) 交付率

51.1%（前年度比0.1%減）

【参考】直近5年間の交付状況（各年度3月31日時点）

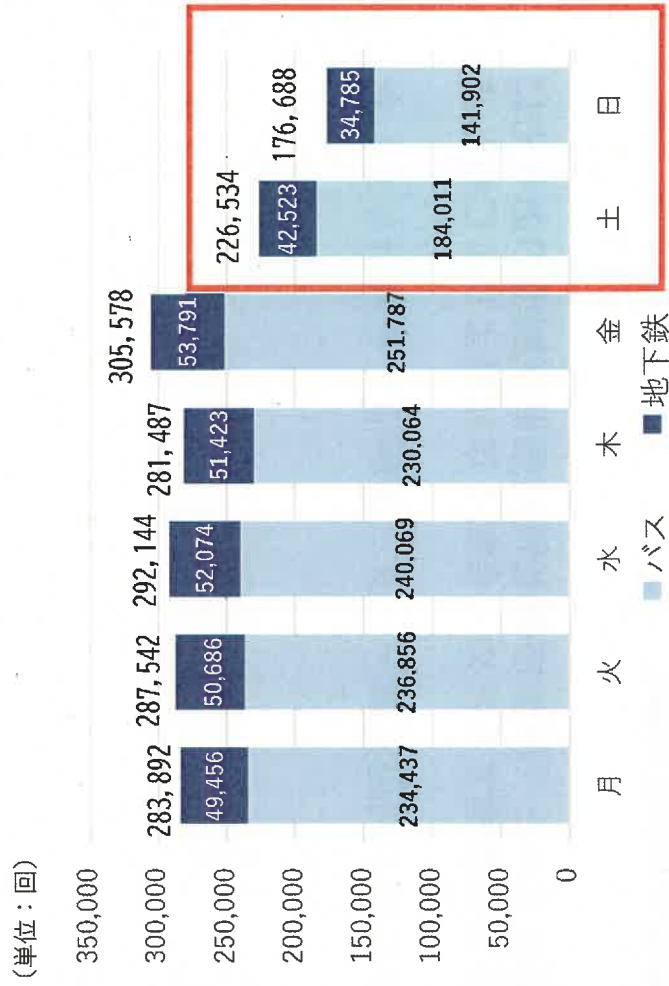
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付者数	404,275人	417,648人	407,079人	395,978人	401,866人
交付率	56.3%	56.3%	53.6%	51.2%	51.1%
対象者数	717,503人	741,856人	760,105人	773,162人	786,395人

3 利用実績データ (1) 交通機関別利用回数

交通機関	利用回数 (10～3月)	一人あたり月 平均利用回数
バス	39,497,283回	16.4回
地下鉄	8,703,199回	3.6回
合計	48,200,482回	20.0回

(2) 曜日別日平均利用回数

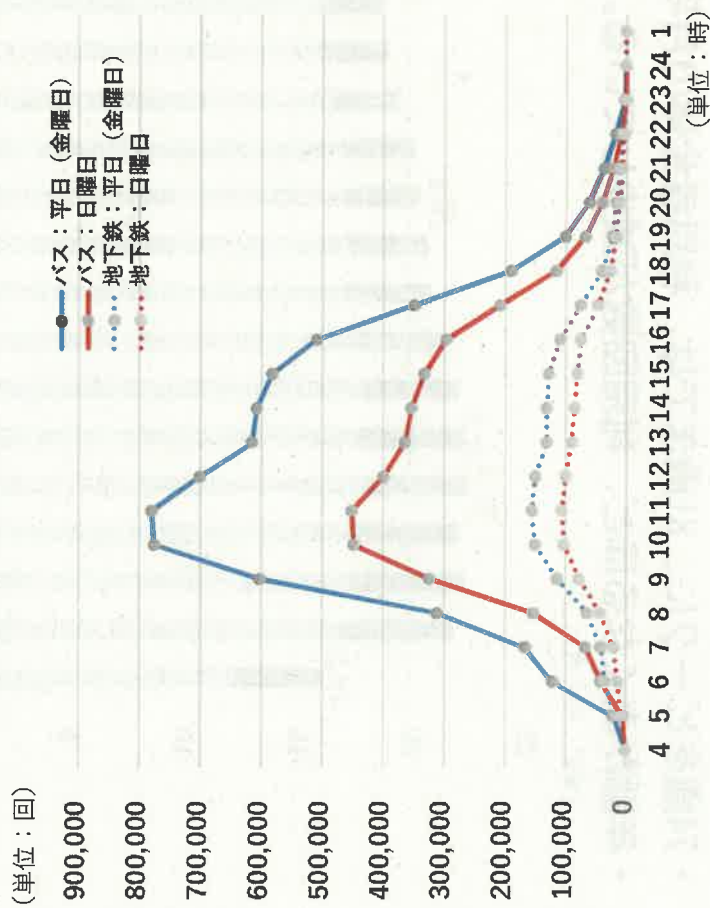
- ・平日と比較し、土日の利用が少ない。



※端数処理の関係で合計が一致しないことがあります

(3) 時間帯別利用回数

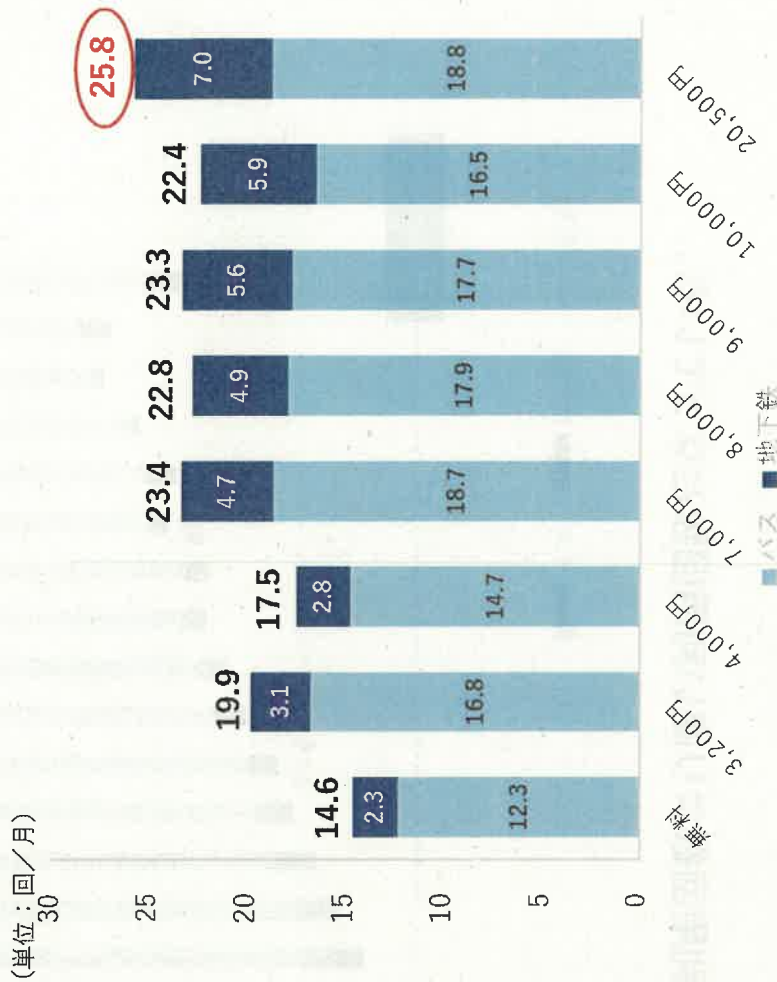
- ・平日、土日の時間帯による利用傾向に大きな差はない。
- ・午前10～11時が利用回数のピークとなっている。



※令和4年10月1日～令和5年3月31日の金・日曜日26日分のデータ

(4) 負担金額別一人あたり月平均利用回数

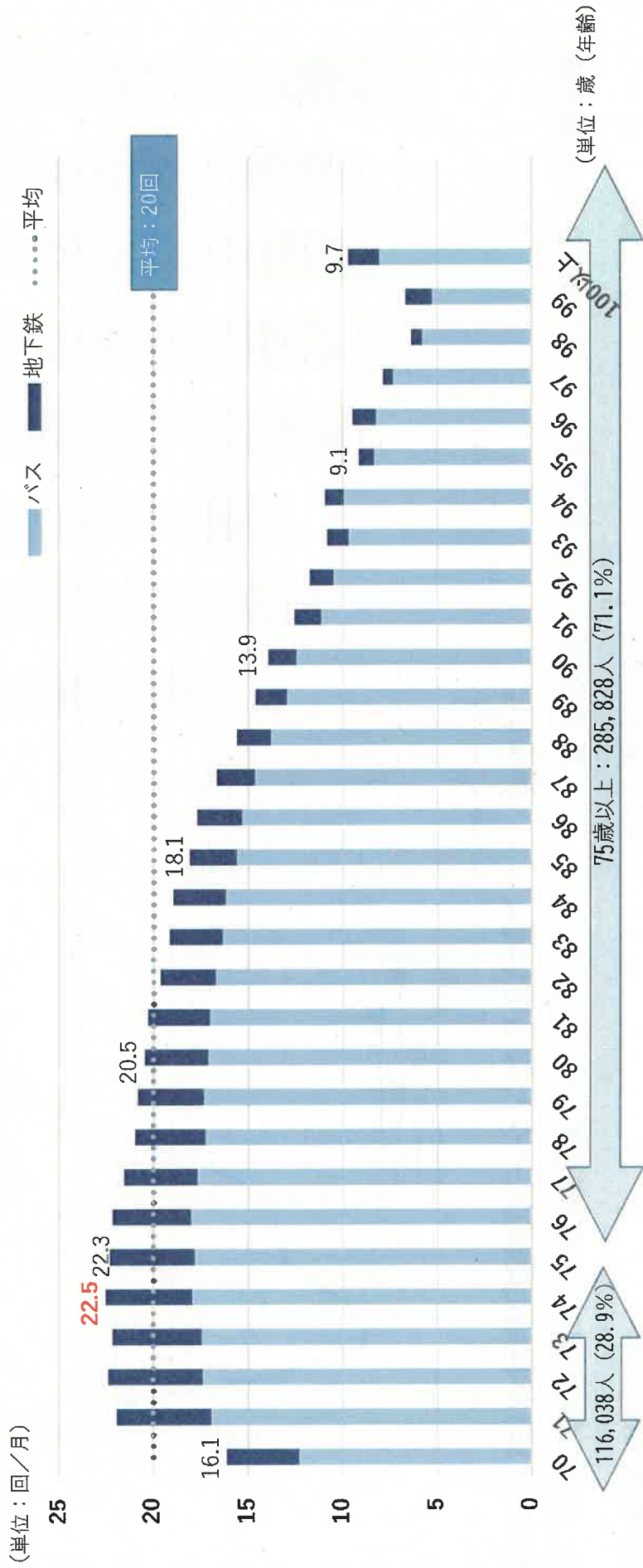
- ・負担金額が一番高い区分 (20,500円) の利用回数が多。



※横軸は利用者負担金額の区分 (年間)

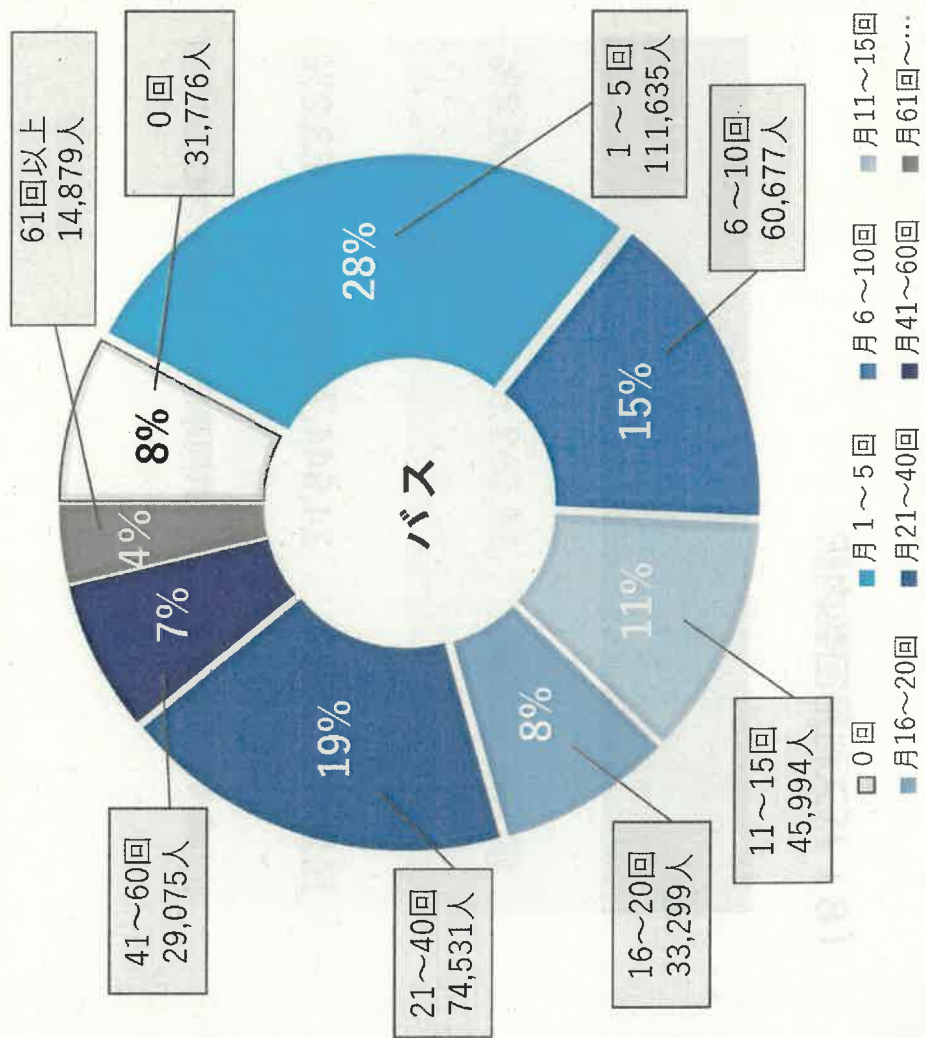
(5) 年齢別一人あたり月平均利用回数

- ・74歳をピークに、81歳までは、利用者全体の月平均利用回数より高い利用回数となっている。
- ・年齢が高くなるほど、利用回数が減少している。



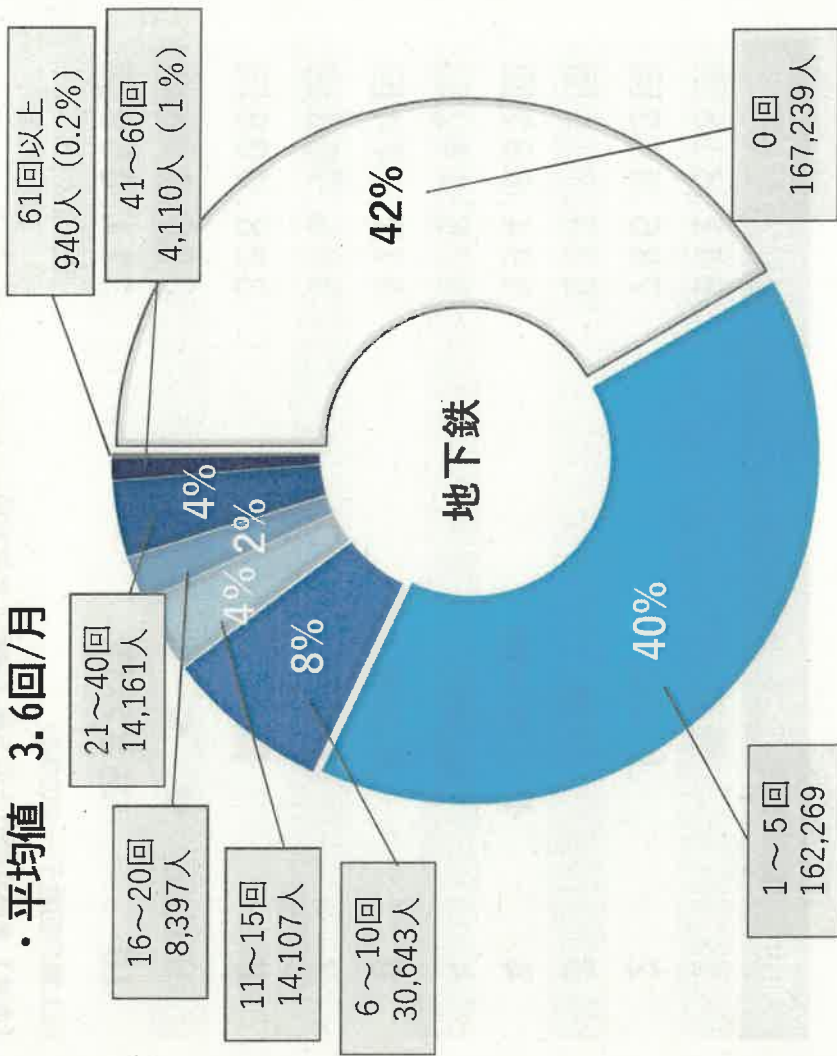
(6) バス月平均利用回数別人数

- ・月平均1～5回の利用者が一番多い。
- ・平均値 16.4回/月



(7) 地下鉄月平均利用回数別人数

- ・0回（一度も利用していない）が一番多い。
- ・平均値 3.6回/月



3月末交付者数 401,866人（死亡・転出を含む）

(8) バス利用回数内訳

	利用回数合計 (10～3月)	構成比
横浜市交通局	14,552,518回	36.8%
民営バス10社※	24,944,765回	63.2%

※川崎市交通局が東急バスと共同運行する区間を含む

(9) 地下鉄駅別利用回数上位10駅

順位	駅名	利用回数合計 (10～3月) ※
1	横浜	841,818回
2	上大岡	786,813回
3	戸塚	623,311回
4	センター南	394,887回
5	桜木町	375,142回
6	上永谷	372,174回
7	新横浜	366,953回
8	関内	328,008回
9	センター北	326,108回
10	あざみ野	311,059回

※入場の回数データの集計

【参考】乗降客数の上位5駅(令和3年度実績)

①横浜、②戸塚、③日吉、④あざみ野、⑤上大岡